

人の道教團結社禁止理由書一

大正十三年九月末調  
安親警察朝鮮人安陸院  
特別高警  
課内詳高  
手係調整

極秘  
特高警察參考書  
特別高警課

SHIPPON ADVANCE  
昭和十七年四月  
宗教警察參考資料第一號  
極秘  
内務省警務局

秘  
昭和九年管内状況ノ内  
特高警察ニ關スル事項  
在上海日本總領事館警察部  
第四號

●編集・解題Ⅱ 荻野富士夫

# 特高警察關係資料集成

第Ⅱ期  
全8卷  
不二出版

●推薦Ⅱ 伊藤 晃／加藤哲郎／田中真人

●全8巻揃定価Ⅱ 本体2000、0000円＋税

『特高警察關係資料集成』全30巻刊行後、新たに発見された戦前の特高警察に関する基本・重要資料97点を編集復刻！



「特高警察関係資料集成 全30巻・別冊1」は、一九九一年六月から一九九五年三月にかけて、全11回配本として刊行した。

戦前期の特高警察の実態と構造を解明するための資料として、主に内務省警保局刊行物を収集し、十二のテーマに分類し、編集復刻した。

それから十年余が経ち、前回収録出来なかった資料、また、新たに発掘された資料等を、第I期と同様のテーマに分類し、かつ「資料番号」も継承して復刻刊行する。

今回の資料発掘は、荻野富士夫氏の海外留学中に、アメリカにおける米国議会図書館所蔵の、いわゆる米軍没収資料の中から、MO J4231及び4232を中心とする。また、外務省外交史料館所蔵、および国立公文書館に移管された旧中野警察学校所蔵資料等も、出来るだけ収録した。

日本の敗戦によって、「特高警察」が解体されて五〇年以上が経過しているが、その実態を把握するための資料は、未だ全体が見えてこない。しかしながら、時間が経過したにもかかわらず、たえまな

い努力によって新たな資料発見があり、日本近現代史の書き換えを要求するに至っている。

不二出版

### 官憲資料の大きな利用価値

伊藤 晃 (日本社会運動史研究者・千葉工業大学教授)

日本の社会運動の一特徴は、自分の生誕以来の過去をふり返って自己を知ることへの関心の弱さ、つまり歴史意識の弱さである。そこで自分たちの運動のなかで作られた文書類を保存することの怠りが目立った。どこの国の運動でも権力の苛酷な抑圧はあったのだから、戦前運動が非公然を強いられていたことは言い訳にならない。そういう事情で、従来研究者は、取締側の官憲作成の文書に頼るところが大きかった。それらの復刻も早いうちから試みられて、たとえば、みず書房「現代史資料」の刊行や、また「特高月報」など逐次刊行物の復刻がわれわれに益を与えた。

しかし、逐次刊行物について言えば、その背後にあるもの、すなわち編集のさいもとになった資料は直接にはわからないわけで、それらを見てみたいという願望が研究者に共通していたと思う。今回企画された「特高警察関係資料集成」は第二期であるが、一〇年前、今回と同様荻野富士夫氏の編集・解題で出た第一期は、特高警察等の現場で作られた文書類を多数収録して、上記の欠を埋める意味をもったものであった。今回の第二期も同じ方針で資料の探索がなされ、散逸、意識的破棄をまぬかれた多くの貴重資料が日の目を見ることになった。

官憲資料はただちに信用しがたいとも言われる。取締り側としての目をつうじて見るものだから、取締り対象の運動の実態を歪める面がある、ということである。しかし「集成」がねらうのは、収録資料群から、まずは官憲の活動の実態、それを導いた思想を知ることであろう。その点、官憲内部でかわされた報告類は主観的には正直に書かれているはずで、その、やがて客観的活動に転化する主観を知ることこそ、編者とともにわれわれが期待することなのである。それらの資料をとおして間接的に知られる諸運動の実態、思想を正確に読みとめることは、研究者の腕の見せどころというものであろう。

### ●「特高警察関係資料集成 第II期」内容見本

原寸大 ★四面付方式(原本を適宜縮小し、4頁を復刻版1頁に面付します。)

昭和四十二年八月二十三日接受

主管 政務局

ノミ作

心

## 社会主義者沿革 第一



由 伊藤 晃

一 本誌ハ我邦社会主義者ノ明治四十一年七月迄(同月以後ノ事限トシテ別冊上)ニ於ケル状況ヲ略述セルモノトス  
社会主義者ニアラサルモ其行動ノ相關聯セル者其他参考トナルヘキ事項ハ各關係類下ニ之ヲ所記セリ  
一 本誌ハ先づモニ材料ニ依リ調査ヲ遂ケタルモノニアラサルヲ以テ多少事實ノ脱落アルヲ免レサルヘシ

### 目次

第一 總説	1
第二 社会主義者ノ団体及各派並其機關	1
(一) 社会主義者ノ団体	1
(二) 解散・禁止又ハ消滅ノモノ	1
(三) 現ニ存在セルモノ	2
(一) 社会主義者ノ各派	2
(二) 社会主義者ノ機關	6
(三) 廢刊ノモノ	6
(四) 現ニ發行セルモノ	7
第三 社会主義者ノ員數及其主ナル者ノ身分・性・行・經・歴	7
(一) 東京府	7
(二) 地方	7
(一) 社会主義者ノ行動	7
(二) 合同時代	9
(三) 分立時代	10
(四) 片山派	11
(五) 西川派	11
(六) 木下派	11
(七) 坂下派	11
(八) 一般ノ行動	11
(九) 特殊ノ行動	11
(十) 足尾銅山毒害事件	15



# 実際に「資料集成」第一期を使つて

加藤哲郎 (一橋大学大学院社会学研究科教授)

第一期の『特高警察関係資料集成』には、ずいぶんお世話になった。これら「官憲資料」は天皇制国家の民衆抑圧・監視記録で、典拠とするには注意が必要だが、そればかりではない。こうした記録にしか現れず、そこから新たな事実と文脈の発見につながる場合もある。

私が近年追いかけてきた、スターリン粛清の日本人犠牲者は、未確定を含め八十名以上にのぼる。その多くは、無名の船員・漁民や坑夫、樺太・欧米経由で「労働者の祖国」ソ連にあこがれ密入国した人々だった。旧ソ連秘密資料に「日本のスパイ」として銃殺・強制収容所送りの記録がでてきても、山本懸蔵・国崎定洞・杉本良吉のような例外を除いて、日本共産党史や社会運動史研究では、ほとんど知られていない名前ばかりである。密入国の場合は、外務省外交史料館の旅券発行記録でもわからない。

そんなとき、本『資料集成』の外事警察記録「露国関係・露領内に於ける邦人赤化宣伝」が決定的だった。ウラジオストックなどで日本人相手の宣伝活動をしてきた須藤政尾・小石浜蔵・安保由五郎らの監視記録に本籍地があり、マスコミやインターネットを通じてよびかけ、探索して、ご遺族に辿りついた。無実の罪での裁判記録、「名誉回復」証明書をお届けし、命日・埋葬地をお伝えすることができた。

その交友関係を旧ソ連秘密警察記録で辿ると、大正・昭和初期にアメリカに留学や仕事を求めて渡航し、移民労働運動に加わり、米国官憲に国外追放されてソ連に亡命し粛清された、健物貞一・宮城与三郎らが出てきた。いわゆる「アメ亡組」である。彼らも在米日本領事館警察に監視されていて、その記録が「資料集成」で見つかった。健物はソ連で結婚し遺児を残していた。日本の親族とロシアの遺児との六十年ぶりのご対面も実現した。

その流れで、最近、上海でゾルゲを尾崎秀実に紹介した謎のアメリカ共産黨員「鬼頭銀一」を追いかけている。第一期「資料集成」では、全30巻中二か所に重要な記述があった。第二期資料を精査すれば、次の手掛かりが出てくるのではと、期待している。



昭和七年十二月調

## 上海ニ於ケル在留朝鮮人並ニ其ノ不逞運動概況

在上海日本總領事館

警察部 第二課

### 序

一、本調査ハ上海在留朝鮮人ノ一般狀況ヲ知ルヲ目的トシ昭和六年及七七年ノ二ケ年間ニ於ケル其ノ概況ヲ記述セリ。

一、特ニ本期間ニ於テハ民族派不逞朝鮮人ハ日支關係紛糾ノ機ニ乘ジ中國側ノ抗日運動ニ迎合策動シ曾テ見ザリシ極テ執拗且ツ露骨ナル抗日活動並ニ獨立宣傳運動ヲ爲シテ即チ主トシテ之ヲ詳述セリ。

昭和八年三月

在上海日本總領事館

警察部 第二課

## 『特高警察関係資料集成 第二期』内容見本

原寸大(四面付方式の見本です)

昭和九年一月

日本共産黨「リンチ」事件ノ概要

警保局 保安課

内務省

「リンチ」事件ノ概要

日本共産黨組織内ニ於テ、「スパイ」的行動或ハ分派的行動ヲ爲シタル者ニ對シテハ從來黨ハ除名其ノ他ノ處分ヲ行フ方針ヲ採リ來リタルガ、其ノ處分方法トシテ私刑(「リンチ」)ヲ加ヘタル事例無キニ非ス。即チ昭和七年八月上野公園ニ於ケル尹蓋協射撃事件及全年九月在原ニ於ケル平安名常孝殺害(未遂)事件等モ是レナリ。

而シテ最近ニ於ケル黨内ノ情勢ヲ観ルニ、昭和八年五月中央部ノ檢舉後ハ優秀ナル統率者ヲ缺キタル爲、中央委員中「インテリ」出身タル野呂榮太郎、宮本顯治、秋篠政之輔等ト労働者出身タル大泉兼誠、小畑運夫等トノ間ニ内訌ヲ生ジ、殊ニ労働者派ハ黨本來ノ性質ニ違フ労働者ニ依ル中央部確立ノ必要ヲ主張

内務省

シテ抗争シ、遂ニ全年七月中央警保局ヨリ宮本顯治、逸見重雄ノ兩名ヲ除キテ大泉、小畑ノ兩名之ニ代ルニ至リタリ。

然ルニ全年十一月二十八日朝中央委員長野呂榮太郎ガ省線電單内ニ於テ登壇途次ノ警視廳警部ニ避遊檢舉セララルヤ、宮本等ハ當時野呂ガ大泉ノミト連絡關係アリタルヲ根拠トシテ、野呂ノ檢舉ハ大泉ノ「スパイ」的行動ニ因ルモノナリト認ヒ、自派ト對立關係ニ在リタル大泉及小畑等ヲ一舉ニ弾リ去ラント計畫シ、遂ニ今同ノ「リンチ」事件ヲ惹起スルニ至リタリ。

其ノ概要左ノ如シ。

内務省

一、小畑運夫、大泉兼誠等ノ「リンチ」事件

前記ノ如クニシテ、宮本、秋篠等ハ自派ヲ以テ、黨内委員會ヲ組織シ、昭和八年十二月二十二日先ヅ宮本及逸見ハ小畑及大泉ノ兩名ト淺草ニ會シ、中央委員會ヲ開催スベキコトヲ約シテ兩名及大泉内妻熊澤みつヲ東京市澁谷區幡ヶ谷本町二ノ二〇七秋篠政之輔(假名黒石彌吉)ノ隠家ニ誘致シ、秋篠、宮本、逸見、袴田(里見)、木島(隆明)、木俣(鈴子)等「ピストル」ヲ振シテ三名ノ手足ヲ縛シ「スパイ」ナリト詰問シテ或ハ殴打シ或ハ催眠ヲ注グ等ノ方法ヲ以テ拷問ヲ加ヘタリ。之ニ因リ遂ニ小畑、大泉ノ兩名ハ氣絶シタルガ、翌二十三日小畑ハ全家床下ニ隠メ、大泉ハ藤生セルヲ以テ全人及熊澤ニ對シテハ全所ニ於テ本年一月十四日迄引續キ拷問ヲ執行シ、遺書ノ作成及

内務省



# 社会運動史研究の基本資料

田中真人 (同志社大学人文科学研究教授)

『特高警察関係資料集成』第Ⅱ期全8巻は、一九九一年から九五五年にかけて刊行された第一期全30巻の補充版ともいべきもので、ジャンル編成も第一期でのそれを踏襲しているように思われる。本シリーズの最大特色は『特高月報』や『社会運動の状況』といった系統的な逐次刊行物ではなく、多くの所蔵機関にまたがる雑多な文書を、テーマ別・年次順に系統的に再編成したところにある。今回の第Ⅱ期に収載された文書群の主要な原本所蔵機関を列挙すれば、国立公文書館のとくに種村文庫、国会図書館憲政資料室の松本文書、アメリカ議会図書館所蔵米軍没収資料マイクロフィルム、外務省外交史料館などがある。個人でこれらの諸機関を博捜することの労力の膨大さを考えると、まことにありがたいことである。

収められた文書は時期的にも日露戦争前後から一九四五五年までの長期間にわたる。そのなかで「治安維持法反対運動者取締要項」「京都帝国大学及私立同志社大学学生の不穏文書頒布事件ノ顛末」といった、特高警察が全国的に整備される一九二八年以前の警保局発行文書、あるいは一九四五五年の敗戦にともなう解体期における動向を反映した「思想旬報」号外、「華人労務者帰国取扱要項」などが、これまで目に触れにくい時期のものだけに興味深い。

本資料集成第Ⅰ期刊行後、一九二〇—三〇年代の、労働問題を中心とする第一次史料の非系統的な文書群は、協働資料がマイクロ化されて刊行されるなど、社会運動関係資料はより徹視的な史料群の公刊が進んだ。社会運動史研究は近年は低調といわれるが、より堅実な実証研究の条件はむしろ増大したといつてよい。本シリーズが運動史研究の新気運のきっかけのひとつとなることを期待したい。

昭和十九年十月四日内務省訓第九二三號

## 内務省總動員警備計畫

極秘

内務省

第一章 總則	一
第二章 總動員警備一般要項	一
第一節 通則	一
第二節 總動員警備要員	一
第三節 總動員警備用通信及檢査	一
第四節 治安維持	一
第五節 重要警備對象物及主要警備地ノ總動員警備	一
第六節 職務保蔵	一
第三章 各種非常事態ニ對スル總動員警備要項	一
第一節 沿岸警備	一
第二節 空襲警備	一
第三節 災害警備	一
第四節 騒擾警備	一

### 内務省警保局刊行物復刻版 既刊

内務省警保局編 (昭和3年~昭和19年刊)

#### 出版警察報 全40巻・補巻1・付録1

付録Ⅱ 出版警察関係資料 解説(由井正臣)・赤沢史朗・北河賢三・豊沢肇・総目次  
A5判・上製・函入・総27、950頁  
揃定価Ⅱ本体475、000円十税  
'82年4月配本完結(復刻版)

内務省警保局編 (大正13年~昭和19年刊)

#### 外事警察報 全67巻・別冊1

別冊Ⅱ 解説(石堂清倫)・総目次・索引  
A5判・上製・函入・総約42、000頁  
揃定価Ⅱ本体990、000円十税  
'89年2月配本完結(復刻版)

内務省警保局編

#### 昭和初期 政党政治関係資料 全4巻

伊香俊哉・倉敷伸子解説  
A5判・上製・函入・総1、670頁  
揃定価Ⅱ本体40、000円十税  
'88年7月刊(復刻版)

内務省警保局編 (昭和10年~昭和15年刊)

#### 出版警察資料 全15巻・付録1

付録Ⅱ 出版警察関係資料 解説(由井正臣)・赤沢史朗・北河賢三・豊沢肇・総目次  
A5判・上製・総8、538頁  
揃定価Ⅱ本体147、000円十税  
'82年9月刊(復刻版)

内務省警保局編 (大正10年~昭和14年)

#### 外事警察報 補巻 全8巻・別冊1

別冊Ⅱ 解説(荻野富士夫)・総目次・索引  
A5判・上製・総2、764頁  
揃定価Ⅱ本体129、000円十税  
'00年9月刊(復刻版)

内閣大礼記録編纂委員会・内務省警保局・内務省衛生局刊

#### 昭和大礼記録資料 全4巻・別冊1

別冊Ⅱ 解説(西秀成・荻野富士夫・藤野豊)  
B5判・上製・総2、512頁  
揃定価Ⅱ本体95、000円十税  
'90年10月刊(復刻版)

内務省警保局編 (昭和5年~昭和10年刊)

#### 出版警察概観 全3巻・付録1

付録Ⅱ 出版警察関係資料 解説(由井正臣)・赤沢史朗・北河賢三・豊沢肇・総目次  
A5判・上製・函入・総2、462頁  
揃定価Ⅱ本体75、000円十税  
'88年4月刊(復刻版)

内務省警保局編 (昭和10年~昭和17年刊)

#### 外事警察概況 全8巻

解説(石堂清倫) 付き  
A5判・上製・函入・総4、220頁  
揃定価Ⅱ本体95、000円十税  
'87年9月刊(復刻版)

内務省警保局編 (昭和13年~昭和19年刊)

#### 外事月報 全11巻

(昭和13年8月より、「特高外事月報」より分離)  
解説(荻野富士夫) 付き  
A5判・上製・総4、500頁十表多数  
揃定価Ⅱ本体165、000円十税  
'94年6月刊(復刻版)

内務省警保局編 (大正14年~昭和19年刊)

#### 映画検閲時報 全40巻

解説(牧野守) 付き  
A5判・上製・函入・総23、200頁  
揃定価Ⅱ本体520、000円十税  
'86年5月配本完結(復刻版)

内務省警保局編 (昭和11年~昭和13年刊)

#### 海外よりの左翼宣伝印刷物集 全3巻

解説(石堂清倫) 付き  
A5判・上製・函入・総1、634頁  
揃定価Ⅱ本体28、000円十税  
'84年11月刊(復刻版)

内務省警保局編 (昭和10年~昭和19年刊)

#### 外事警察資料 全4巻

解説(荻野富士夫) 付き  
A5判・上製・総1、400頁  
揃定価Ⅱ本体60、000円十税  
'94年6月刊(復刻版)



1 共産主義運動

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
1-46	社会主義者沿革及現況	1904	内務省	14丁	⑳巻 416頁	外交史料館
1-47	社会主義者沿革 第一	1908	内務省	90丁		外交史料館
1-48	社会主義者沿革 第二	(1909)	内務省	81丁		外交史料館
1-49	赤化宣伝ニ対スル警察取締概要	(1926)	警保局保安課	9p		公文書館
1-50	最近ニ於ケル我国社会運動ノ概況	1932.5.3	警保局保安課	121p+表		公文書館
1-51	最近に於ける日本共産党の運動状況〔第三〕	(1932)	(内務省)	49p		松本学文書
1-52	共産党検挙状況ニ関スル件	1932.11	警視総監	24丁		松本学文書
1-53	日本共産党検挙事件ノ概要	(1932)	警保局	30丁		松本学文書
1-54	日本共産党検挙関係特殊事項	1933.1	内務省警保局	9丁		松本学文書
1-55	共産主義運動対策ニ関スル意見要旨	1933.5	内務省警保局	35丁		松本学文書
1-56	日本共産党「リンチ」事件ノ概要	1934.1	警保局保安課	12p	松本学文書	
1-57	最近ニ於ケル共産主義運動ノ概況	1934	警保局保安課	6p	MOJ4231-14	
1-58	最近ニ於ケル共産主義運動概況	1936	警保局保安課	38p	公文書館	
1-59	コミンテルンの我国に対する策動状況(其ノ1)	1939.9	警保局保安課	145p	公文書館	
1-60	支那事変下に於ける帝都学生左翼運動概況	1939.10	警視庁特高第一課	25p	国立教・志水	
1-61	最近に於ける共産主義運動の概要	1940.9	警保局保安課	15p+表	公文(種村75)	

3 労働運動

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
3-19	別子銅山労働争議ノ状況	1926.1	警保局保安課	11p	⑳巻	公文(種村1)

4 農民運動

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
4-26	団体紛議取締ニ関スル地方令	1925.6	警保局保安課	22p	⑳巻	MOJ4231-190
4-27	栃木県阿久津村ニ於ケル騒擾事件顛末	1932.6	警保局保安課	22p		公文(種村38)

5 水平運動・在日朝鮮人運動

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
5-18	朝鮮人概況	1916.6.30	警保局	25丁	⑳巻 396頁	不二出版
5-19	朝鮮人概況 第一	1917.5.31	警保局	84丁		不二出版
5-20	事務概要	1924.9	警視庁・内鮮高等係	71丁		桜井文庫
5-21	要視察朝鮮人要覧	1924.9	警視庁・内鮮高等係	64丁		桜井文庫
5-22	在京朝鮮人団体要覧	1924.9	警視庁・内鮮高等係	91丁		桜井文庫
5-23	三重県ニ於ケル内鮮人衝突事件ノ顛末	(1926)	警保局保安課	13p		公文(種村7)
5-24	内鮮警察参考資料	1939.7	警保局保安課	90p+表		公文(種村83)
5-25	移入労働者訓練及取扱要綱	1942	中央協和会	19p		MOJ4232
5-26	出動労働者訓練服務心得準則	1942	中央協和会	10p		MOJ4232
5-27	内地在住朝鮮人状況統計図	1943.3	中央協和会	8p		MOJ4232
5-28	国民動員計画に伴ふ移入朝鮮人労働者並に在住朝鮮人の要注動向(予算説明資料)	1944.10	警保局保安課	48p	公文(種村107)	
5-29	帰鮮関係編纂	1945	長野県		MOJ4231-16	
5-30	内鮮調査報告書類編纂	1945	長野県	52p	MOJ4231-17	
5-31	最近ニ於ケル在支不逞朝鮮人ノ策動状況ニ関スル件	1932.3	警保局保安課	26コマ	旧陸(T1473)	

6 国家主義運動

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
6-26	国家社会主義運動の理論	1932.3	警保局保安課	72p	⑳巻	公文書館
6-27	最近ニ於ケル国家主義運動ノ概況	1932.5	警保局保安課	147p		公文書館
6-28	兵農決死隊事件顛末	1932.5	警保局	90p		公文(種村38)
6-29	五・一五事件被告減刑運動ノ概要	1933.8.15	警保局保安課	22p		松本学文書
6-30	最近ニ於ケル急進的国家改造運動ノ動向	1933.9	警保局保安課	14p		松本学文書
6-31	著書より観たる北一輝の思想	不明	(警保局)	49p		公文(種村43)
6-32	二・二六事件情報関係書類	1936	警保局	約480p	㉑巻	公文(種村47)
6-33	軍隊叛乱ニ対スル警察取締ノ方針	1936	(警保局)	35p		

7 外事警察関係

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
7-20	露国の現状	1924.3	警保局保安課	52p	㉑巻 328頁	MOJ4231-116
7-21	インターナショナルと世界革命	1924.10	警保局	35p		MOJ4231-116
7-22	全亜細亜民族会議顛末	1926.10	警保局保安課	192p		MOJ4231-128
7-23	対露対策	1932.7.27	上田書記官	350p		公文書館
7-24	支那事変に対するコミンテルンの策動	1937.9	警保局保安課	91p		公文書館
7-25	華人労働者ノ特異ノ動向	1945.9	(警保局)	13p		MOJ4231-6
7-26	華人労働者帰国取扱要領	1945	長野県	6p		MOJ4232
7-27	華人労働者在日感想文綴	1945	間組戸寿出張所	10p		MOJ4232

8 出版警察関係

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
8-15	第五十二議会答弁資料	1927	警保局図書課	50p	㉑巻 356頁	MOJ4231-101
8-16	帝国議会出版法制速記録輯	1928.7	警保局図書課	695p		MOJ4231-109
8-17	第五十六議会資料	1928.12	警保局図書課	210p		MOJ4231-56
8-18	出版物ノ激増ト図書課ノ検閲組織	(1932)	警保局図書課	3p		松本学文書
8-19	共産主義関係出版物取締ニ関スル意見要旨	1933.5	警保局図書課	15丁		松本学文書
8-20	検閲月報	1942.3	神奈川県特高課	12p		MOJ4231-175

9 特高関係重要資料

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
9-37	大正七年八月米価問題騒擾事件概要	1919.5	静岡県警察部	107p	㉑巻 338頁	公文書館
9-38	治安維持法案反対運動者取締要領	1925	警保局	13p		公文(種村7)
9-39	京都帝国大学及私立同志社大学学生ノ不穩文書頒布事件ノ顛末	1926	警保局	10p		公文(種村1)
9-40	学生ノ社会運動ニ関スル概況	(1929)	(警保局)	27p		公文(種村1)
9-41	香川県ニ於ケル所謂弾圧問題ニ就テ	1929.1	警保局保安課	44p		公文書館
9-42	功績概要(三・一五事件)	1929.7	警保局	34p		公文書館
9-43	内務大臣・警保局長「引継書類」	1932~1945	警保局	920p		MOJ4231-1
9-44	事務引継書	1929.1930、 1933.1943	山口県	220p		山口県文書館
9-45	特高警察参考書	1935	新潟県特高課	約200p		同志社人文研
9-46	大東亜戦争勃発後治安維持法違反検査状況調	1944	神奈川県特高課	8p		MOJ4231-59
9-47	神奈川県警察部特別高等課課員異動並事務分担調	1945	神奈川県特高課	19p	MOJ4231-427	



番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
9-48	皇国農村確立促進方策に対する関係各方面の反響	1943.11	警保局保安課	64p	⑳巻 390頁	MOJ4231-51-2
9-49	徴用工員長期欠勤者に対する一斉取締状況	1943.11	警保局保安課	16p		MOJ4231-51-10
9-50	最近に於ける労働情勢悪化の状況	1944.1	警保局保安課	92p		MOJ4231-51-11
9-51	都市に於ける社会不安の温床と目せらるる諸現象に就て	1944.4	警保局保安課	26p		MOJ4231-51-7
9-52	最近に於ける治安情勢	1945	警保局保安課	80p		MOJ4231-51-6
9-53	最近に於ける流言蜚語の状況	(1945)	警保局	5p		MOJ4231
9-54	特高課事務概要	1940	宮崎県特高課	60p		MOJ4231-74
9-55	警保局所管事務ノ概況	1941.10	警保局	48p		公文書館
9-56	「事務引継書類綴」	1945.8	警保局	38p		MOJ4231-1
9-57	天理研究会不敬事件顛末概要	1928	警保局	69p		公文(種村32)
9-58	燈台社ノ近況概観	1933.7	警保局	75p		公文書館
9-59	人の道教団弾圧関係(関東局・上海など)	1933~37	関東局警務部ほか	164p		外交史料館
9-60	人の道教団ノ結社禁止理由書一	1937.3	警保局保安課	672p		外交史料館
9-61	人の道教団ノ結社禁止理由書二	1937.2	警保局保安課	740p		外交史料館
9-62	人の道教団ノ結社禁止理由書二	1937.2	警保局保安課	468p	外交史料館	
9-63	宗教警察参考資料 第一号		警保局保安課	104p	MOJ4231-35	
9-64	黒色青年聯盟一派ノ暴行事件及取締ノ概況	1926	警保局	5p	公文(種村7)	
9-65	黒色青年聯盟ノ概況	1926	警保局	4p	公文(種村7)	
9-66	特高辞典	1926.5	福岡県特高課	54p	⑳巻 404頁	MOJ4231-111
9-67	総動員警備要綱	1944.8	内務省	22p	公文書館	
9-68	内務省総動員警備計画	1944.10	内務省	15p	公文書館	
9-69	警備服務要領	1945	千葉県警察部	5p	MOJ4231-88	
9-70	言論出版集会結社等臨時取締法案関係書類	1941	警保局	144p	MOJ4231-166・167	
9-71	特高警察ニ関スル事項〔昭和7年〕	1932	在上海総領事館警察部	161p	㉑巻 454頁	外交史料館
9-72	上海ニ於ケル在留鮮人並ニ其ノ不逞運動概況	1932.12	在上海総領事館警察部第二課	434p		外交史料館
9-73	特高警察ニ関スル事項〔昭和9年〕	1934	在上海日本総領事館	891p		外交史料館
9-74	プロレタリア文化運動と日本プロレタリア文化連盟	1934.12	警保局保安課	34丁		松本学文書

11 特高関係各種会議

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
11-15	特高・外事課長会議関係	1931~1934	警保局	146p	㉑巻	公文書館
11-16	特高外事課長事務打合せ	1936.9	警保局	9p		公文書館

12 特高関係逐次刊行物

番号	資料名称	作成年	作成者	原本頁数	復刻版 巻数・頁数	原本所蔵
12-11	思想旬報 号外	1945.7.10	警保局保安課	24p	㉑巻	MOJ4231-51-4
12-12	特高指針 号外	1945.2	警保局保安課	8p		MOJ4231-51-3

〔註〕 原本所蔵機関等の表記は次の通り。  
 外交史料館 = 外務省外交史料館  
 公文書館 = 国立公文書館、公文(種村) = 国立公文書館所蔵・種村文庫  
 松本学文書 = 国立国会図書館憲政資料室・松本学関係文書  
 MOJ4231-14 = 米国会図書館(L.C.)所蔵・米軍没収資料(マイクロ・フィルム)  
 国立教・志水 = 国立教育研究所・志水文庫  
 桜井文庫 = 東京経済大学図書館所蔵・桜井義之文庫  
 旧陸(T1473) = 旧陸海軍文書マイクロ・フィルム(タイトル1473)

●『特高警察関係資料集成 第Ⅰ期』復刻版概要

体裁—A4判・上製  
四面付方式を基本とす  
総頁数14、300頁

原本—所蔵機関・個人等30余  
全263点(約5万6千頁余)の  
原資料を全12編に編集

配本—全11回配本(95年3月配本完結)

解題—荻野富士夫(小樽商科大学教授)  
各巻の巻頭に収録

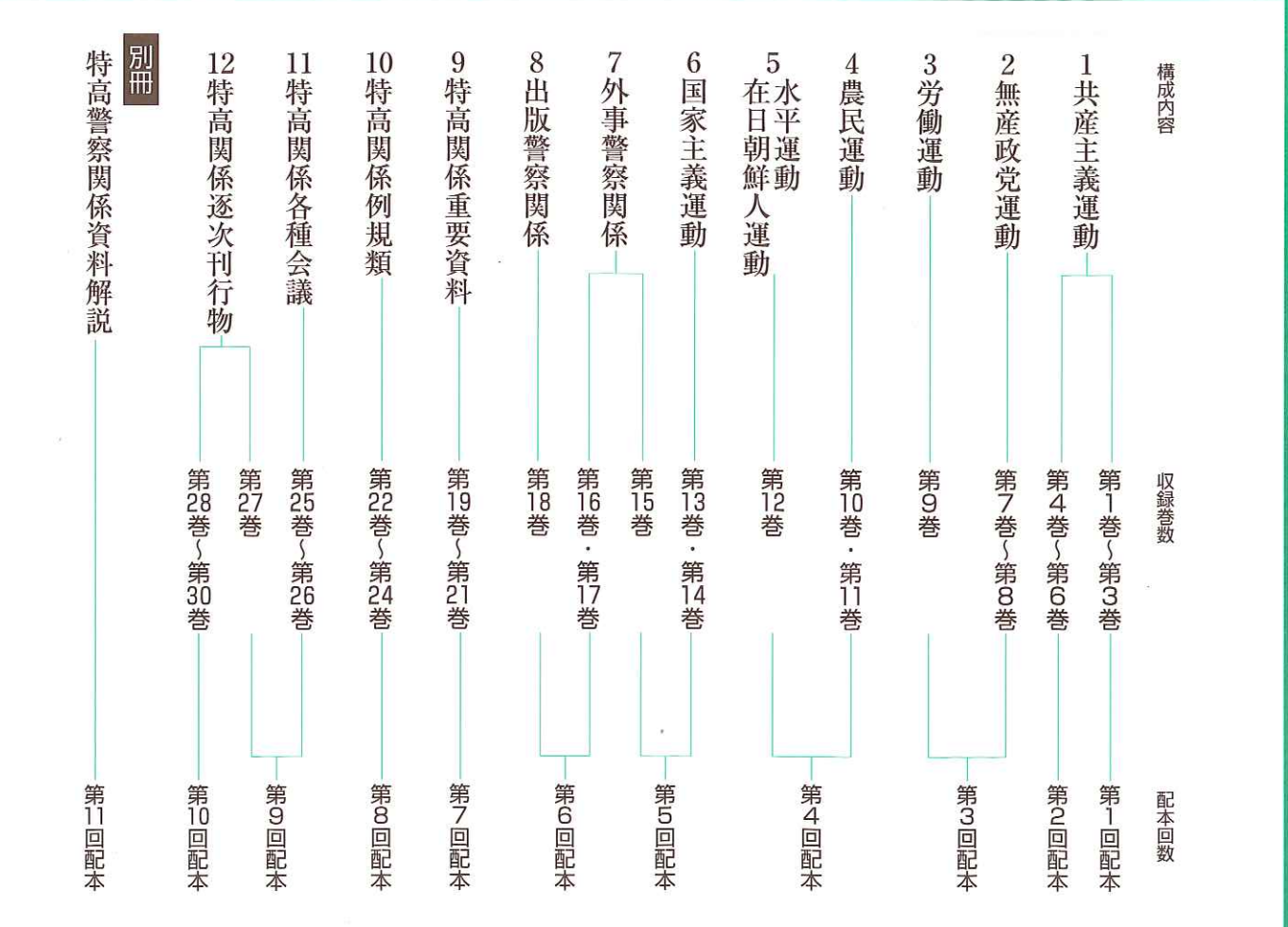
別冊—『特高警察関係資料解説』  
・B5判・上製・函入・400頁  
・定価(本体)255,000円(税込)  
・荻野富士夫 著

揃定価—全30巻・別冊1  
本体775,000円(税込)

構成内容

収録巻数

配本回数



日	出	入	取	止
1	○	○	○	○
2	○	○	○	○
3	○	○	○	○
4	○	○	○	○
5	○	○	○	○
6	○	○	○	○
7	○	○	○	○
8	○	○	○	○
9	○	○	○	○
10	○	○	○	○
11	○	○	○	○
12	○	○	○	○

昭和十七年三月  
特高指針  
検閲月報



# 特高警察関係資料集成 第Ⅱ期 全8巻

## ●復刻版概要

体裁—A4判・上製

四面付方式を基本とす

総頁数約三、一〇〇頁

原本—所蔵機関10余箇所

全97点(約1万1千頁余)の

原資料を全12編に編集

米国議会図書館(L.C)

外務省外交史料館

国立公文書館

国立国会図書館

国立教育研究所

配本—全2回配本'04年6月/04年12月

解題—荻野富士夫(小樽商科大学教授)

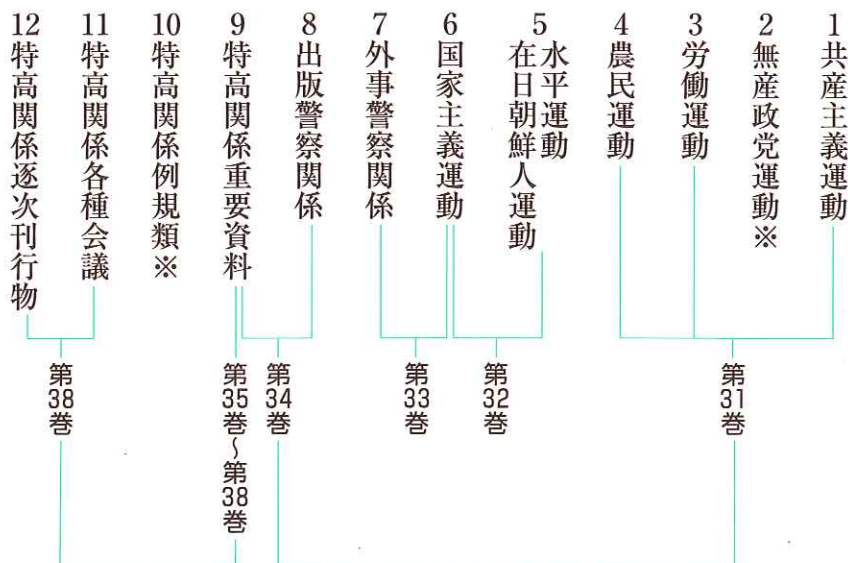
第35巻の巻頭に収録

揃定価—全8巻

本体2200,000円+税

## 構成内容

## 収録巻数



※第Ⅱ期の復刻版には、構成内容の「2」「10」に該当する資料は入っていません。

第1回配本'04年6月刊行

【第31巻～第34巻】

●揃定価≡本体10万円+税 ISBN4-8350-5365-6

第2回配本'04年12月刊行

【第35巻～第38巻】

●揃定価≡本体10万円+税 ISBN4-8350-5370-2

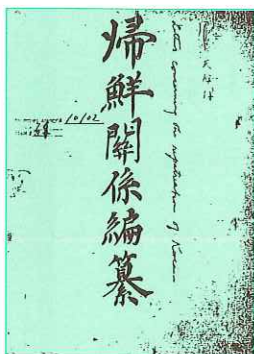
圖書集成 警察部

大正十三年九月末編

警察部



帰鮮関係編纂



露國の現状



警保局長

昭和八年五月(各府縣提出)

共産主義運動 對策ニ關スル意見要旨

極秘

内務省警保局

表示価格は、全て税別

# 不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘一丁目二  
TEL 03-3812-4433  
FAX 03-3812-4464  
振替 001601194084